

E 普及・参考事項並びに試験研究の成果

1. 令和7年普及奨励事項、普及推進事項、指導参考事項、研究参考事項並びに行政参考事項

令和6年度北海道農業試験会議（成績会議）において、当年度までに完了した試験研究成績について、普及、研究、行政に提供される事項を決定した。そのうち、当场が担当または分担した提出課題（農業資材・農業機械性能調査関係課題を除く）は次のとおりである。

(1) 普及奨励事項

（作物開発部会）

○小麦新品種候補「北見99号」（北見農試研究部麦類畑作グループ、中央農試作物開発部作物グループ・作物開発部生物工学グループ・加工利用部農産品質グループ・遺伝資源部遺伝資源グループ、上川農試研究部水稻畑作グループ、十勝農試研究部豆類畑作グループ・生産技術グループ）

(2) 普及推進事項 該当なし

(3) 指導参考事項

（作物開発部会）

○りんごの品種特性（中央農試作物開発部作物グループ）
○OMスターコンテナを用いた醸造用ぶどう育苗法（中央農試作物開発部作物グループ）

（生産技術部会）

○水稻に対するプラスチック被覆肥料の育苗箱施肥による省力施肥技術（中央農試水田農業部水田農業グループ）
○水稻「えみまる」の種子生産における早期異常出穂抑制技術（中央農試水田農業部水田農業グループ）
○気象情報を用いた水稻「ゆめぴりか」のタンパク区分に基づく基準品率の早期予測技術（中央農試水田農業部水田農業グループ・農業環境部環境保全グループ、ホクレン農業総合研究所）
○栽培管理履歴の有効活用に向けたデータ管理の現状整理と秋まき小麦の分析事例（中央農試農業環境部環境保全グループ）
○子実用とうもろこしの有機栽培における安定生産技術と輪作体系への導入効果（中央農試農業環境部生産技術

グループ）

○葉菜類ボーレコールの冬季無加温栽培法と加工・貯蔵特性（上川農試研究部生産技術グループ、中央農試加工利用部農産品質グループ）

○衛星リモートセンシングと地理情報を活用した畑地の排水不良域の推定法（中央農試農業環境部環境保全グループ、十勝農試研究部生産技術グループ・農業システムグループ、北見農試研究部生産技術グループ）

○北海道耕地土壌の理化学性と炭素貯留量の2023年までの推移（中央農試農業環境部環境保全グループ・生産技術グループ、上川農試研究部生産技術グループ、道南農試研究部生産技術グループ、十勝農試研究部生産技術グループ、北見農試研究部生産技術グループ、酪農試草地研究部飼料生産技術グループ、同天北支場地域技術グループ）

（病虫部会）

○令和6年度の発生にかんがみ注意すべき病害虫（北海道立総合研究機構農業研究本部、北海道農政部技術普及課）

○テンサイ褐斑病抵抗性極強品種における褐斑病の省力防除法（十勝農試研究部生産技術グループ、中央農試病虫部予察診断グループ、北見農試研究部生産技術グループ）

○AIを活用したジャガイモYウイルスの画像診断（中央農試病虫部予察診断グループ）

（農業システム部会）

○GAP導入による効果と導入推進に向けた対応策（中央農試農業システム部農業システムグループ）

○露地野菜の収穫作業を省力化するコンベヤキャリア式収穫体系（農業研究本部企画調整部地域技術グループ、中央農試農業システム部農業システムグループ、花・野菜技術センター研究部花き野菜グループ）

(4) 研究参考事項 該当なし

(5) 行政参考事項

（農業システム部会）

○食品小売における有機野菜の陳列棚とPOPに着目した消費拡大に係る効果（中央農試農業システム部農業システムグループ）

2. 論文ならびに資料

(1) 研究論文、試験成績

水田農業部

○B. N. Doszhanova, A. K. Zatybekov, S. V. Didorenko, T. Suzuki, Y. Yamashita, Y. Turuspekov. Identification of quantitative trait loci of pod dehiscence in a collection of soybean grown in the southeast of Kazakhstan. *Vavilovskii Zhurnal Genetiki i Seleksii* (Vavilov Journal of Genetics and Breeding) 28(5), 515-522 (2024).

農業システム部

○Zenta Nishio, Masatomo Kurushima, Takeshi Suzuki, Seiji Shimoda, Tomoyoshi Hirota. Effects of Temperature, Precipitation, and Sunshine on Cold-Tolerant Wheat Yield Under Warming Trends: A 20-Year Study in Hokkaido, Japan. *Plants* 13(22)(2024).

農業環境部

○細淵幸雄, 林哲央. オートクレーブを用いた土壌の熱水可溶性ホウ素抽出法の改良. *日本土壌肥科学雑誌*. 95(5), p. 315-317 (2024).

○小谷野茂和, 櫻井道彦, 新村昭憲, 西脇由恵, 谷藤健, 杉川陽一, 福川英司. 北海道における秋まきコムギ有機栽培のための安定確収技術. *日本土壌肥科学雑誌*. 95(5), p. 322-327 (2024).

○杉川陽一, 酒井治, 大塚省吾, 平山裕治, 内田哲嗣, 奥村理, 竹之内悠, 井田悠太. 植物成長調整剤を用いた春まきコムギ「春よ恋」の高品質多収栽培法. *日本土壌肥科学雑誌*. 96(1), p. 10-16 (2025).

病虫部

○児玉不二雄, 田中文夫, 野津あゆみ, 園田高広. アスパラガスの若茎に「サビ症状」を引き起こす病原菌(講演要旨). *日本植物病理学会報*. 91(1), p. 45.

○齊藤美樹, 佐藤翠音. LED 照射によるダイズのマメシキイガ被害抑制効果. *北日本病害虫研究会報*. 75, p. 112-118 (2024).

(2) 口頭発表 (ポスター発表含む)

作物開発部

○道満剛平, 大西志全, 其田達也, 西村努. コムギ赤さび病抵抗性遺伝子 *Lr34* による「きたほなみ」での発病抑制程度. *日本育種学会・日本作物学会北海道談話会会報* 65,

p10-11 (2024).

○道満剛平, 鴻坂扶美子, 長澤秀高, 堀内優貴. 北海道のアズキ品種の成熟期における葉落ち程度と簡易定量法の試行. *日本育種学会第 147 回講演会. 育種学研究* 27 (別 1), p. 185 (2025).

○梅原里奈, 小林聡, 佐藤圭, 五十嵐秀成, 高橋春南, 山口直矢, 前多隼人. 高タンパク質含有のダイズ変異体における代謝物の網羅的分析. *公益社団法人日本農芸化学会 2025 年度(令和 7 年度)大会 講演要旨集*. P477 (2025).

○足利奈奈, 五十嵐秀成, 小林聡, 高橋春南, 佐藤圭, 細川優介, 山口直矢. ダイズ「とよまどか」の突然変異集団を用いた高タンパク質系統の選抜とその特性評価. *日本育種学会第 147 回講演会. 育種学研究* 27 (別 1), p. 80 (2025).

○山口直矢, 五十嵐秀成, 丸田泰史, 長山照樹, 加賀秋人. ダイズの循環選抜でゲノムシャッフリングは生じるのか? *日本育種学会第 146 回講演会. 育種学研究* 26 (別 2), p. 26 (2024).

○飯田憲司, 山口直矢, 白澤健太. SNP データを用いたチモシーの収量予測. *日本草地学会誌* 70, p. 60 (2024).

○藤田 慧, 山口直矢, 千田峰生. 着色ダイズ種皮における DMACA 染色およびフロログルシノール染色のパターン比較. *日本育種学会・日本作物学会北海道談話会会報* 65, p. 48-49 (2024).

○細川優介, 長澤秀高, 山口直矢, 堀内優貴. 北海道のアズキ品種間で観察される収量の遺伝子型と環境の相互作用 (GEI). *日本育種学会第 147 回講演会. 育種学研究* 27 (別 1), p. 82 (2025).

○山口直矢, 白澤健太, 五十嵐秀成, 山田哲也. 納豆用ダイズの極小粒化を目指した百粒重のゲノミック予測モデルの構築. *日本育種学会第 147 回講演会. 育種学研究* 27 (別 1), p. 49 (2025).

○阿出川さとみ, 山口直矢, 相馬ちひろ, 白澤健太. 多様なアズキ 96 品種系統の全ゲノムリシーケンス解析: アズキゲノム育種を目指して. *日本育種学会第 147 回講演会. 育種学研究* 27 (別 1), p. 20 (2025).

○大西志全, 堀川謙太郎, 森田耕一, 山口直矢, 相馬ちひろ, 佐藤優美, 其田達也. 2DL 染色体上のコムギ赤かび病抵抗性 QTL における新規抵抗性アリルは日本在来品種に由来し「蘇麦 3 号」由来アリルより有用である. *日本育種学会第 147 回講演会. 育種学研究* 27 (別 1), p. 18 (2025).

○佐藤圭, 石川圭大, 和崎俊文, 品田博史, 白澤健太, 山口直矢. 道総研のヒストリカルデータを用いたジャガイモ疫病抵抗性に関する GWAS と QTN の有効性検証. *日本育種学会第 147 回講演会. 育種学研究* 27 (別 1), p. 25 (2025).

○高橋春南, 前多隼人, 山口直矢. ダイズわいか病抵抗性遺伝子 *Rsdv1* を導入したダイズ子実のイソフラボン含量. 日本育種学会第 147 回講演会. 育種学研究 27 (別 1), p. 79 (2025).

○五十嵐秀成, 山口直矢. 遺伝子型と環境相互作用 (GEI) の解析によるカナダと北海道のダイズ収量安定性評価. 日本育種学会第 147 回講演会. 育種学研究 27 (別 1), p. 81 (2025).

○木内均, 其田達也, 阿出川さとみ, 山口直矢, 相馬ちひろ, 大西志全. コムギ品種「きたほなみ」を遺伝背景としたコムギ縞萎縮病抵抗性遺伝子とポリフェノールオキシターゼ高活性型遺伝子の連鎖解消系統の作出. 日本育種学会第 147 回講演会. 育種学研究 27 (別 1), p. 83 (2025).

○高田昌汰, 石川吾郎, 前島秀和, 上原泰, 恒川健太, 鈴木良地, 加藤周平, 坂紀邦, 相馬ちひろ, 谷中美貴子, 中村和弘, 松中仁, 乙部千雅子, 八田浩一, 小島久代, 小林史典. コムギ品種「しゅんよう」に由来するコムギ縞萎縮病抵抗性に関する QTL の効果の検証とアレルの系譜解析. 日本育種学会第 147 回講演会. 育種学研究 27 (別 1), p. 190 (2025).

○Md. Imdadul Hoque, 坂口俊太郎, 高鳥将希, 木下雅文, 品田博史, 山口直矢, 西村努, 貴島祐治. Variation of thermos-sensitivity of heading date found in Hokkaido rice varieties affect heading synchrony and premature heading. 日本育種学会第 147 回講演会. 育種学研究 27 (別 1), p. 116 (2025).

○岡部黎, 櫻井建吾, 稲森稔, 五十嵐秀成, 山口直矢, 加賀秋人, 岩田洋佳. ダイズ交配集団における未知ゲノム情報の推定とハプロタイプを用いたゲノミック予測. 日本育種学会第 147 回講演会. 育種学研究 27 (別 1), p. 130 (2025).

水田農業部

○山下陽子, 佐藤隼太, 順西奈緒, 五十嵐俊成. レーザー距離計とモバイル端末を利用した作物データ収集の効率化. 日本育種学会第 147 回講演会. 育種学研究 27 (別 1), p. 121 (2025. 3. 21).

○岡下悠, 小杉重順. 水稻「えみまる」における早期異常出穂が収量に及ぼす影響. 日本土壌肥料学会北海道支部会. (2024. 12. 5).

加工利用部

○竹内薫. 生地物性に着目した小豆粉配合食パンの製パン性改善. 日本家政学会第 76 回大会 (愛知県名古屋市). (2024. 05. 27).

○竹内薫, 梶田路津子, 松岡祐樹, 阿部純也. 貯蔵中のカボチャの消費者型官能評価. 日本食品科学工学会第 71 回大会 (誌上開催). (2024. 8. 29-31).

○竹内薫. 北海道の穀物の特性と利用について. 日本食品科学工学会第 71 回大会 (誌上開催). (2024. 8. 29-31).

○梶田路津子, 小林哲也. 加熱殺菌したにんじんのテクスチャーに対する塩化カルシウム溶液ブランチングの影響. 日本食品科学工学会第 71 回大会 (誌上開催). (2024. 8. 29).

○梶田路津子. 菜豆品種の近縁係数と遺伝的距離からみた関係. 日本育種学会・日本作物学会北海道談話会会報 65, p. 54-55 (2024. 12. 7).

○竹内薫. Napping と Check-All-That-Apply による粒餡のテクスチャーの官能評価. 日本食品科学工学会令和 7 年度北海道支部大会. 日本食品科学工学会令和 7 年度北海道支部大会講演要旨集, p. 26. (2024. 03. 18).

○梶田路津子, 小林哲也. 加熱殺菌したパウチ詰めブロッコリーの食味官能評価. 日本食品科学工学会北海道支部大会. 日本食品科学工学会令和 7 年度北海道支部大会講演要旨集, p. 25. (2025. 3. 17-18).

○松岡祐樹, 梶田路津子, 野田智昭. 北海道産セイヨウカボチャにおける MA 包装貯蔵の歩留まりおよび品質への影響. 園芸学会令和 7 年度春季大会 (神奈川県藤沢市). (2025. 3. 20-21).

農業システム部

○細川優介, 石塚帆名子, 池本秀樹, 原圭祐. 複数作物の衛星データの重ね合せによる圃場内低 pH 地点の判別. 農業情報学会 2024 年度年次大会 (2024).

○池本秀樹, 細川優介, 石塚帆名子, 原圭祐, 石倉究. 圃場内の土壌理化学性や土壌群の違いが pH に及ぼす影響. 日本土壌肥料学会 2024 年度福岡大会 (2024).

○山田洋文. 「みどりの食料システム戦略」と有機農業技術普及の課題 ―第 74 回大会シンポジウム 座長解題―. 第 74 回地域農林経済学会大会 (2024).

○山田将太郎. 北海道の農業法人及び営農支援組織における雇用の現状 ―雇用利用に関するアンケート結果の分析から―. 北海道農業研究会 2024 年度シンポジウム (2024).

○山田将太郎, 山田洋文, 金子剛. 雇用労働力の募集方法別にみる採用と定着への効果―北海道における農業法人と営農支援組織を対象として―. 令和 6 年度日本農業経営学会研究大会 (2024).

農業環境部

○古林直太, 田村救, 藤倉潤治. 特殊肥料等入り指定混合肥料の施用が施設園芸作物の生育・収量に及ぼす影響. 日本土壌肥料学会 2024 年度福岡大会. 講演要旨集第 70 集, P.129 (2024. 9. 3-5. 福岡) .

○八木哲生, 杉川陽一. 生産現場データを活用した秋まきコムギの生産性に対する播種および追肥の影響評価. 日本土壌肥料学会 2024 年度北海道支部秋季大会. 講演要旨集 (2024.12. 5. 旭川) .

○小杉重順, 齋藤優介, 細淵幸雄. 水稻「そらきらり」の安定多収栽培に向けた窒素施肥量および栽植密度の検討. 日本土壌肥料学会 2024 年度北海道支部秋季大会. 講演要旨集 (2024.12. 5. 旭川) .

○竹内晴信. ヴィンヤードの土壌特性. シンポジウム「北海道ワインレポート 2024 お披露目会」. 第 4 回北海道ワインシンポジオン (2025. 3. 11. 札幌) .

病虫部

○齊藤美樹. マメシクイガ成虫の行動リズムに及ぼす光の影響と光照射による防除効果. 第 28 回農林害虫防除研究会北海道大会シンポジウム (2024.10. 3~4) .

○新村昭憲. 北海道における小麦なまぐさ黒穂病の発生と対策. 令和 6 年度日本植物病理学会北海道部会 (2024.10.12~13) .

○児玉不二雄, 田中文夫, 野津あゆみ, 園田高広. アスパラガスの若茎に「サビ症状」を引き起こす病原菌. 日本植物病理学会北海道部会. (2024.10.13. 札幌) .

○山名利一. 専用撮影装置と画像分類 AI を利用したジャガイモ Y ウイルス発病葉の簡易診断法. 第 78 回北日本病害虫研究発表会 (2025. 2. 20~21. 青森市) .

企画調整部

○菅原彰. 気温データを用いた二条オオムギ「りょうふう」の出穂期・成熟期予測. 日本作物学会第 258 回講演会 (2024. 9. 26) .

○富沢ゆい子. リン酸過剰障害が疑われるセルリーに対する塩化第二鉄の施用効果. 日本土壌肥料学会 2024 年度福岡大会 (2024. 9. 4) .

○須田達也, 藤田一輝, 竹内晴信. 排水不良なソバ栽培圃場における補助暗渠による収量性改善効果. 日本土壌肥料学会 2024 年度福岡大会. 講演要旨集第 69 集 (2023. 9. 3-5. 福岡市) .

作物開発部

○道満剛平. DNA マーカー選抜を利用した茎疫病抵抗性小豆品種の開発強化. 豆類時報 No. 116. p. 33-39 (2024)

○吉田昌幸. りんご「ひめかみ」および「ほおずり」の高接ぎ一挙更新法と適正着果量. ニューカンントリー 6 月号. p. 64-65 (2024) .

○相馬ちひろ. ゲノム情報を活用した品種育成. 公益財団法人日本豆類協会創立 60 周年記念誌「60 年のあゆみ」, p. 28-29 (2025) .

○前多隼人, 太田龍之介, 高橋春南, 山口直矢, 小林聡. 黒ダイズ品種「いわいくろ」味噌のポリフェノール及びイソフラボンの変化. アグリバイオ 12 月号, p. 1121-1127 (2024) .

水田農業部

○齋藤優介. 収穫後並びに融雪後のほ場管理. 農産技術だより第 21 号. p. 1-4. (2024) .

○齋藤優介. 水稻の育苗箱専用肥料を活用した省力施肥技術. ニューカンントリー 4 月号. p. 16-17 (2025) .

加工利用部

○小宮山誠一. ベストチャレンジ_果樹畑作経営と 6 次産業化で地域のリーダーへ (中野満さん, 長沼町) . ニューカンントリー 6 月号. p. 95-96. (2023) .

○杉山裕, 佐々木亮, 鴻坂扶美子, 中道浩司, 小宮山誠一. 黒大豆の加工時皮切れの発生要因. 北農. 91 (3), p. 22-29 (2024) .

農業システム部

○稲野一郎. 令和 6 年度農産技術だより. 北海道農産協会. 20. P. 1-3. (2024)

農業環境部

○小杉重順. 水稻・そらきらり (空育 195 号) の栽培管理指標. ニューカンントリー. 71 (4), p. 12-15 (2024)

○小杉重順. 水稻「そらきらり (空育 195 号)」の栽培管理指標. あぐりさろん 21. 88, p. 3 (2024)

○小谷野茂和. 安定確収のための秋まき小麦有機栽培技術. グリーンレポート. 663, p. 8-9 (2024)

○古林直太. 堆肥と化学肥料の同時施用で施設栽培の作業負担を軽減. ニューカンントリー. 71 (10), p. 64-65 (2024)

○鈴木慶次郎, 坂口雅己. 堆肥および後作緑肥が道央低地土たまねぎ畑の土壌炭素貯留量に及ぼす影響. 農業および園芸. 99 (3), p. 218-224 (2024)

(3) 専門雑誌記事

病虫害部

- 道総研中央農試病虫害部予察診断グループ. 令和 5 年度の発生にかんがみ注意すべき病虫害. 北農. 91(2), p. 139-154 (2024)
- 西脇由恵. 2025 作物展望 病虫害. ニューカンントリー. 1 月号, p. 58-60 (2024)
- 野津あゆみ. 令和 6 年度発生にかんがみ注意すべき病虫害. ニューカンントリー. 3 月号, p. 14-15 (2025)
- 齊藤美樹. 青色 LED を利用した大豆のマメシンクイガ防除技術. ニューカンントリー. 7 月号, p. 20-22 (2024)
- 齊藤美樹. マメシンクイガ成虫の行動リズムに及ぼす光の影響と光照射による防除効果. グリーンテクノ情報. 20(4), p. 25-28 (2025)
- 佐々木太陽. 日本におけるクビアカクビホソハムシの新発生報告. 植物防疫. 79(3), p. 134-138 (2025)
- 新村昭憲. 多発傾向に対応した赤さび病防除技術. ニューカンントリー. 9 月号, p. 22-24 (2024)
- 小松勉. 北海道における *Tilletia controversa* によるなまぐさ黒穂病の防除. 植物防疫. 78(9), p. 26-30 (2024)

企画調整部

- 原圭祐. 可変施肥システム. ニューカンントリー. 9 月号, p. 60-61 (2024)
- 富沢ゆい子. 北海道の野菜づくり第 2 部 5 章「セルリー」. ニューカンントリー. 秋季臨時増刊号, p. 238-240 (2024)
- 原圭祐. 令和 6 年度地域農業技術センター連絡会議研究情報交換会報告. 北農. 92-1, p. 80-86 (2024)
- 佐々木亮. 露地ねぎの低肥沃度土壌に対応する窒素施肥技術. 北農. 第 91 巻 4 号, p. 276-281 (2024)
- 須田達也. なるほど新技術「堅密なら全層心土破碎, 透水不良は通水空洞の施工が有効」. ニューカンントリー 5 月号, p. 60-61 (2024)
- 佐々木亮. なるほど新技術「露地ねぎの低肥沃度土壌に対応する窒素施肥技術」. ニューカンントリー 7 月号, p. 72-73 (2024)
- 植野玲一郎. 第 2 章品目別栽培ポイント ねぎ. ニューカンントリー 2024 年秋季臨時増刊号, p. 127-130 (2024)
- 植野玲一郎. 第 2 章品目別栽培ポイント カリフラワー. ニューカンントリー 2024 年秋季臨時増刊号, p. 235-237 (2024)
- 須田達也. 畑でわかる土壌物理性診断法と土層改良法の効果実証. あぐりさろん 21. 89, p. 3 (2024)
- 佐々木亮. 北海道の露地ねぎにおけるハイパーCDU の低肥沃度土壌への活用. 農業と科学. 1 月号, p. 6-10 (2024)

(4) 著編書資料

水田農業部

- 齋藤優介. 良食味米を目指した土壌管理, 施肥技術. “令和 7 年産に向けての米づくり”. 北海道農産協会編. 同発行, 2025. p. 39-71.

加工利用部

- 小宮山誠一. 北海道果樹百五十年史 (加工・流通・貯蔵). 北海道果樹協会. 2024. p. 55-58.

農業システム部

- 稲野一郎. 令和 7 年産に向けての米づくり. VI 良質・良食味米生産のための収穫・乾燥・調製と稲わら収集. 北海道農産協会. P. 111-120 (2025)

農業環境部

- 杉川陽一. 良質小麦生産のための施肥および土壌管理. “北海道の小麦づくり”. 北海道農産協会編. 同発行, 2025. p. 55-86.
- 竹内晴信. 6. ヴィンヤードの土壌特性. “北海道ワインレポート 2024”. 北海道ワインプラットフォーム. 2025 (web 公開). p. 24-25.
- 杉川陽一. ニューカンントリー 2024 年秋季臨時増刊号「北海道の野菜づくりー基本技術と品目別栽培ポイント (有機物や緑肥を活用した地力増進)」. 北海道共同組合通信社. p. 48-50 (2024)
- 古林直太. ニューカンントリー 2024 年秋季臨時増刊号「北海道の野菜づくりー基本技術と品目別栽培ポイント (栄養診断に基づく施肥対応)」. 北海道共同組合通信社. p. 56-58 (2024)
- 細淵幸雄. ニューカンントリー 2024 年秋季臨時増刊号「北海道の野菜づくりー基本技術と品目別栽培ポイント (排水対策とかんがい対策)」. 北海道共同組合通信社. p. 59-62 (2024).
- 漆畑裕次郎. ニューカンントリー 2024 年秋季臨時増刊号「北海道の野菜づくりー基本技術と品目別栽培ポイント (にんじん)」. 北海道共同組合通信社. p. 173-177 (2024).

病虫害部

- 三宅規文. (公財) 日本豆類協会 60 年誌 菜豆のインゲンマメゾウムシに対する各種対策. 公益財団法人日本豆類協会編. 同発行, 2024. p. 36-37.
- 西脇由恵. 北海道の果樹百五十年史 第三章第二節三 (四) 試験研究の取り組み 道総研中央農業試験場 病

害虫防除. 北海道果樹百五十年史編集委員会. 同発行,
2024. p. 52-55.

○小松勉. 北海道の野菜作り. 北海道協同組合通信社.
2024. p. 64-77.

(5) 新聞等記事

農業環境部

○小杉重順. 水稻「そらきり（空育 195 号）」の栽培管理指標. 農業共済新聞. (2024. 5. 15)

○古林直太. 堆肥と化学がひとつに！堆肥入り複合肥料の特性と活用法. 農業共済新聞. (2024. 9. 11)

病虫部

○齊藤美樹. 青い光でマメシクイガから大豆を守る！. 十勝毎日新聞. (2024. 5. 1)

○齊藤美樹. 濃い青色 LED 照射で大豆を守る！道総研マメシクイガ防除技術. 開拓情報（全国開拓振興協会）. (2024. 5. 15)

○新村昭憲. 効果的な秋まき小麦の赤さび病防除. 農業共済新聞. (2024. 6. 12)

○山名利一. 北海道でのバレイショ栽培における病害虫の発生動向. 日本農業新聞. (2025. 1. 29)

○野津あゆみ. 令和 7 年度特に注意を要する病害虫. 農業共済新聞. (2025. 3. 12)

企画調整部

○須田達也. 生産者自らができる畑の土層改良～そば収量性向上の実証～. 農業共済新聞. (2024. 11. 6)

○菅原章人. ニューカントリー2024 年秋季臨時増刊号「北海道の野菜づくりー基本技術と品目別栽培のポイント（きゅうり）」. 北海道共同組合通信社. p. 95-98 (2024)

○菅原章人. ニューカントリー2024 年秋季臨時増刊号「北海道の野菜づくりー基本技術と品目別栽培のポイント（みつば）」. 北海道共同組合通信社. p. 153-154 (2024)